nuovoサブスク体験
楽しく練習しながら実践もできる!

山ノ内町
山本真衣子さん

笑顔P 主催の第8 回重機講習にて資格を取得された山本真衣子さん。その後もnuovo のサブスクを利用し、重機操作の腕を磨いておられる山本さんに、サブスク体験のご感想を伺いました。

「以前にも『重機、乗ってみたい』と思ったものの、仕事で必要なわけでもなく講習を受講する理由がありませんでした。nuovo で『重機の習得は防災の備えにつながる』と知ったことがきっかけとなり、スムーズに行動に移せたと思います。

笑顔Ｐの重機講習は、実技指導が他に比べると手厚いのが嬉しいです。ただ、1日限りの講習と実技で乗りこなせるものではないと実感し、しっかり使えるようにしたいとサブスクに参加しました。『楽しい!』というのが正直な感想です。

災害は起こらない方がいいけれど、実践はとても大切と感じています。サブスクは練習しながら実践もできる素晴らしい環境！　みなさんもぜひ!!」

4児の母であり、旅館で接客のお仕事をしておられる山本真衣子さん。

◆日本笑顔プロジェクト　スタッフ紹介◆

10年勤務の会社から天職に転職！

日本笑顔プロジェクト
副代表 **春原圭太**（すのはらけいた）（32）

私は中野市出身で、長野市豊野町の介護施設に介護士として勤務していました。2019年10月に発生した台風19号の被災地で林さんと出会い、11月下旬から笑顔Ｐのメンバーとして被災地支援を行ってきました。

近年稀に見る自然災害の多さに驚かされつつ、備えることの大切さ、災害に対するノウハウをもった人材育成の必要性を痛感しました。防災に努め、有事に備える取り組みを今後していきたいと思った私は、10年間勤めた会社を３月末で退職し、笑顔Ｐの職員として人材育成を行っていきます。

４月からはまったく別の職種に就きますが、「天職に転職」と言えるような組織を育てていきたいと思います。応援をよろしくお願いいたします。

ヒッチハイクから防災活動へ優しさをつないで

日本笑顔プロジェクト
事務局長 **神戸智基**（かんべとしき）（22）

私は小布施町出身で、新潟大学法学部４年の現役大学生です。2019年の台風19号で地元が被災した際、新潟- 長野をヒッチハイクで往復し、ボランティア活動を行いました。

2020年4月からは大学を休学し、被災者支援活動を続けながらnuovoの運営に携わらせていただいております。

趣味はなんといってもヒッチハイク！　いままで数多くの車に乗せていただき、全国を旅してきました。そのときに感じた「人の優しさ」が現在の活動にもつながっています。

災害大国日本において、防災は必須です。特に私のような若い世代の人たちに興味をもっていただけるよう、これからも走り続けます！

ということで、2021年度は復学ならず、休学2年生に（笑）。卒業はしますよ！　いつか……。

災害協定・連携先（敬称略）

- 石井食品株式会社（非常食）
- 株式会社AirX（ヘリコプター）
- 有限会社ビビッド（電源車）
- POWERDRIVE R117（ボート・船）
- 株式会社e-nature（キャンピングカー）
- 一般社団法人オフロードビークル協会（バギー・モービル）
- 真言宗豊山派仏教青年会（寺院ネットワーク）
- わらび野観光株式会社（バス）
- 株式会社カンバーランド・ジャパン（トレーラーハウス）
- 株式会社ラックス（エアードーム）
- 株式会社アクティオ（重機・建機）
- 株式会社アイエー（ソリ）
- モトローラ・ソリューションズ（無線・トランシーバー）
- 株式会社Goolight（映像・ドローン）
- 中部観光株式会社（バス）
- 株式会社RSS 高喜屋
- NEXCO 東日本新潟支社
- 株式会社NEXCO エンジニアリング新潟
- 中野市
- 小布施町

<支援金のおねがい>

日本笑顔プロジェクトの活動はみなさまからの支援金のみで成り立っております。
被災地での支援活動やライフアミューズメントパークnuovoの運営には、重機やダンプの燃料資金が必要です。ご支援のほどを、なにとぞよろしくお願いいたします。

日本笑顔プロジェクト　代表　林映寿

八十二銀行（ハチジュウニギンコウ）
小布施（オブセ）支店（252）
口座番号　普通：２１１０３８
口座名　日本笑顔プロジェクト
（ニホンエガオプロジェクト）
※口座番号に7桁の指定がある場合は、先頭部分に「0」を入力して、［０２１１０３８］としてください。

発　行　2021年3月31日
発行者　一般財団法人日本笑顔プロジェクト
代表　林映寿
〒381-0211 長野県上高井郡小布施町
雁田676 浄光寺内
電話：026-247-3924
HP　https://egaonowa.net/
制作　燕游舎

笑顔NEWS

Vol.1

NIHON EGAO FOUNDATION

緊急災害対応「キメラ」をカスタムプロデュース

関越自動車道雪害対応での教訓を元に、笑顔Ｐではシリーズ最高排気量（1000cc）をベース車両として15項目のカスタムを加えた緊急災害対応ATV四輪バギー「イエローキメラ」をプロデュースしました。

カスタマイズには、バギーメーカーBRPジャパン株式会社様をはじめ、笑顔Pと連携するOVO や株式会社RSS 高喜屋と結成したチームが取り組み、わずか10日間で納車してくださいました。今回の北陸自動車道雪害支援に緊急出動したのは、納車からわずか12日後。備えの必要性をあらためて実感する機会となりました。

2020年12月
関越自動車道

暮れも押し迫った2020年12月16日。関越自動車道の新潟県・群馬県境付近では18日にかけ、大雪の影響により大規模な交通障害が発生。多くの車両が長時間にわたり立ち往生しました。

17日深夜、状況を知った日本笑顔プロジェクト（以下、笑顔P）は、災害協定を結ぶ一般社団法人オフロードビークル協会（以下、OVO）理事長の高橋盛行さんとともに、現地へ急行。かなりの積雪があったことから、クローラータイプのATV四輪バギーとスノーモービルを緊急出動させました。

胸の高さまで降り積もる雪の中、18日未明にようやく現地へ到着すると、国からの要請を受け出動していた自衛隊のみなさんと連携して救援活動に尽力。バギーやスノーモービルを活用し、自衛隊のみなさんが歩くための通路の圧雪、支援物資や燃料の運搬、また立ち往生する車両のマフラー部分の除雪を中心に、夜を徹して活動を行いました。

2021年1月
北陸自動車道・国道8号線

さらに、年明けから間もない2021年1月8日、北陸自動車道上越（ネクスコ）IC 付近で100 台以上の滞留が発生。NEXCO 東日本新潟支社様からOVO への緊急要請を受け、笑顔Pもメンバーの車で災害地仕様のキャタピラバギー「イエローキメラ」を牽引し、3名で救援活動に出動しました。

翌9日には、同社からの再度の緊急要請により、新潟県柿崎IC 付近の滞留車に支援物資を配給。笑顔Pからも栗庵風味堂様の栗羊羹や石井食品株式会社様の非常食を届け、ドライバーのみなさまから喜ばれました。

１月10日未明には、国土交通省からの緊急要請が。上越市内の国道8号線にて滞留車への支援物資の配給活動に当たりました。

YouTube動画、再生50万回！

北陸自動車道での救援活動を、裏舞台を含め前編・後編に分けてYouTube に公開したところ、わずか1カ月で50万回の再生を記録！現場の緊張感はもちろんですが、メンバーそれぞれの珍プレーもあり、今もなお再生回数は増え続けています。

前編

後編

車載非常食を企画・商品化！

「温かくておいしいものが食べたい」。関越自動車道の雪害で立ち往生されたドライバーのみなさんから多数寄せられた声に応えるべく、笑顔Pは災害協定を結ぶ石井食品株式会社様と、水を入れるだけで発熱するヒートパックと非常食をセットにした車載専用の「車にあってよかった非常食セット」を共同企画しました。

商品は同社オンラインショップで購入可能。また笑顔Pでは、この商品を個別にパッキングし、オリジナル支援物資として緊急出動時に持参しています。

石井食品
オンラインショップ

NEXCO・国交省と災害協定

関越自動車道での雪害発生以降に、笑顔Pが連携し、林映寿が理事を務めるOVOとNEXCO東日本新潟支社様、株式会社NEXCOエンジニアリング新潟様が災害協定を締結。雪害発生時もしくは発生の恐れがある場合に、その対応にあたります。1月8～10日に続き、2月16～17日にも緊急出動要請がありました。

日本笑顔プロジェクト
活動の記録（2020年12月―2021年2月）

2020 12月

3日　重機エキスパート講習会（協力：DRT JAPAN）❶
4日　POWERDRIVE R117様と災害協定調印（ボート・船・キャンピングカー）
10日　KDDIエンジニアリング株式会社様、nuovo視察 ❷
12～13日　第10回重9機講習会実施　23名受講（累計194名）❸
17～18日　関越自動車道雪害立ち往生支援（以下、関越道支援）▶P.1
19日　信濃毎日新聞掲載（nuovo）
20日　朝日デジタル掲載（関越道支援）
21日　朝日新聞全国版掲載（関越道支援）❹
　テレビ信州「news every.」で放送（関越道支援）❺
23日　新潟日報掲載（関越道支援）
25日　信濃毎日新聞掲載（車載専用非常食セット）❻
　毎日新聞掲載（関越道支援）
　北信ローカル掲載（関越道支援）
26日　中日新聞掲載（関越道支援）
29日　緊急災害対応専用ATV4輪バギー「イエローキメラ」納車 ▶P.1
31日　車載専用非常食セット「車にあってよかった非常食セット」販売開始 ▶P.1

2021 1月

6日　ABN長野朝日放送・abn ニュースステーション放送（nuovo・関越道支援）
7日　日経新聞掲載（車載専用非常食セット）
7日　長野市豊野町復興支援・コンテナ移動
8日　わらび野観光株式会社様災害協定調印（バス）
8日～10日　北陸自動車道雪害立ち往生緊急出動 ❼
13日　モトローラ・ソリューションズ株式会社様からブロードバンドIP無線機5台とデジタル簡易無線機3台無償貸与 ❽
18日　株式会社Goolight様と災害協定調印（映像・ドローン・インタネット環境）❾
19日　ジリリタ株式会社様からダンボール製パーテーションデスク「SOiRO」無償提供
20日　全国ケーブルテレビ・4K「きみの一歩で笑顔を作る!」で特集番組放送

❶ 大きな段差や障害物を乗り越えたり、道路や家屋を覆う土砂・がれきを除去したりする難易度の高い特殊技術を学び、緊急時に備えます。

❷

❸ 受講者23人中、女性が4割を超え、大学生も参加した第10回重機講習。全員が見事資格を取得！

❹

❺

❻

❼

❽

❾笑顔Pの四輪バギーや重機、株式会社Goolight様のドローンや映像技術を相互に提供・連携し、災害時に必要な情報をスピーディーに収集、支援活動につなげていきます。

25日　災害協定協議のため中部観光株式会社様（富山県）訪問❿
　BBT富山テレビ・ニュース番組に生出演⓫
26日　テレビ信州「news every.」で放送(nuovo)
28日　関越道集中降雪対応訓練・NEXCO東日本新潟支社合同会議 ⓬
30日～31日　第11回重機講習会実施、17名受講（累計211名）

2 月

2日～3日　長野市赤沼復興支援・果樹抜根
5日　信濃毎日新聞掲載（バス・コロナ対策光触媒噴霧）
6日　須坂新聞掲載（神戸事務局長相森中学校講演）
8日　テレビ信州「news every.」で放送（バス・コロナ対策光触媒噴霧）
　朝日新聞掲載（神戸事務局長）⓭
10日　中部観光株式会社様災害協定調印（バス）
12日　SBC信越放送「ニュースワイド」放送（nuovo）
14～15日　第12回重機講習会実施、13名受講（累計224名）
15日　大規模地震に備え緊急出動体制（車両・ヘリ各種待機）
15日　KDDI様社員向けバギーライセンス講習会⓮
17日　林代表オンライン講演
　長野市豊野町復興支援・農地復旧⓯
　北陸自動車道・国道8号線雪害立ち往生緊急出動 ▶P.1
18日　中野市災害協定調印⓰
　株式会社アイエー様災害協定調印（大型ソリ）⓱
20日　重機講習会（解体用）実施、20名受講 ⓲
24日　NBS長野放送「みんなの信州」放送（nuovo・関越道支援）
26日　KDDI様基地局復旧へのバギー導入を正式リリース
27日　YAHOO! JAPANニュース配信（nuovo・関越道支援）

⓾ 第一次避難所やトイレ車、避難所への人員搬送、物資の輸送など、災害時のバス活用法を検討・確認。

⓫

⓬ 笑顔Pのメンバー3名が出席した合同会議では、2020年12月の関越道集中降雪時の支援活動を通じて必要性を実感したポイントを提案。NEXCO東日本のみなさまも真剣に課題解決をご検討くださいました。

⓭

⓮

⓯ 2019年10月に台風19号で被災した農地の復旧支援を実施。ダンプやバケットユンボ、解体用つかみユンボなどを駆使して効率よく作業を進めました。

⓰

⓱

⓲ がれきや流木の撤去などにハサミ機やプレーカーを使用することも多い災害時に備え、解体用重機の操作をトレーニング。

2019年より笑顔Pで主催しております「小型車両系建設機械運転業務特別教育講習会」（以下、重機講習）は、おかげさまで冬季間にも大勢のみなさまにご参加いただき、2021年2月14～15日開催の第12回までで224名の重機オペレーターが誕生いたしました。

資格取得者の中には、その後も笑顔Pが運営する「ライフアミューズメントパークnuovo（ヌーボ）」のサブスクリプションシステム（以下、サブスク）により、日々のトレーニングを積まれる方々も。自分たちの地域を自分たちで守るしくみづくりが、力強く進んでおります。

今後は、このnuovoを全国各地に広められるように、地域パートナー様と協力関係の構築を進めていきたいと思っております。